

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第161号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年5月15日 13時30分ごろ	
発生場所	静岡県用宗漁港 用宗港沖西防波堤東灯台から真方位050° 1,000m付近 (概位 北緯34°55'33" 東経138°22'55")	
事故等調査の経過	平成21年6月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 押船 第二十一<sup>せいわ</sup>静和丸、19トン 282-16674 静岡、静和工業株式会社</p> <p>B 起重機台船 第二十<sup>せいわ</sup>静和丸、長さ53.00m、幅19.00m、深さ3.60m なし、静和工業株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A なし B 左舷船底外板凹損	
事故等の経過	A船は、B船と一体型の押船列（以下「A船押船列」という。）を構成し、船長ほか1人が乗り組み、作業員4人とともに、用宗漁港で離岸堤工事に従事中、平成21年5月15日13時30分ごろ、約15m/sの南西からの突風が吹き、陸岸に寄せられる状況となったので、B船のアンカーワイヤーを巻いて陸岸から離そうとしたが、B船が浅所に底触した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3～4 視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期 潮高 約40cm	
分析	乗組員等の関与	なし
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	A船押船列は、用宗漁港において、突風を受けて陸岸に寄せられ、B船が浅所に底触したものと考えられる。
原因	本事故は、A船押船列が用宗港において錨泊中、突風を受けて陸岸に寄せられたため、B船が浅所に底触したことにより発生したものと考えられる。	